

第 4 回 大 臣 表 彰 受 賞 者 一 覧

1	北海道空港株式会社	<p>新千歳空港国際線ターミナルビルの新設に当たり、基本設計時から有識者や障害当事者等によるUD検討委員会のほか、多様な障害者が参加した当事者WGやUDの専門家WGを高頻度で開催し、当事者等の意見を設計や工事に反映。手動車いすで利用できる一般便房、弱視者に配慮した設備、エスカレーター逆進入防止設備、6カ国語によるサインの整備など、高度なバリアフリー化を実現した。</p>
2	東京国際空港ターミナル株式会社・京浜急行電鉄株式会社・東京モノレール株式会社	<p>東京空港国際線ターミナルビルの新設に当たり、有識者や障害当事者等のほか表彰候補3者が参加したUD検討委員会を立ち上げ、多様な障害者が参加した当事者WSを高頻度で開催し、当事者等の意見を設計や工事に反映。ビル全体におけるUD配慮のほか、鉄道駅ホーム階と到着・出発階を直接結ぶ大型エレベーターの整備や、モノレールのホームから出発ロビーまでフラットな動線の確保など、施設全体における高度なバリアフリー化を実現した。</p>
3	株式会社みずほ銀行	<p>誰にでも利用しやすい銀行を目指した「ハートフルプロジェクト」を立ち上げ、有識者によるアドバイスをふまえて、全店統一の改修基準を定め、有人店舗をはじめとする店舗において段差解消のほか自動ドアや車いすでも利用できるトイレ・駐車場、視覚障害者対応ATMなどの整備を全国で広範に実施したほか、障害の種別に応じた対応マニュアル整備等による接遇向上など、ハード面・ソフト面から利用しやすい銀行店舗づくりに全社的に取り組んだ。</p>
4	音羽山 清水寺	<p>国宝・重要文化財として改修上の制約が多く、また高低差の大きい傾斜地という厳しい条件にある境内において、障害者等用の車によるアクセスを確保し、車いす用の参道の舗装や音羽の滝付近の大規模改修によるスロープ整備をはじめとする境内一周ルートの整備のほか、複数箇所の多機能トイレ整備、手で触れる観音像の設置など、多数の人が訪れる寺社地のバリアフリー化に取り組んだ。</p>
5	北大阪急行電鉄株式会社・吹田市・豊中市	<p>両側を幹線道路に挟まれた傾斜地の谷部にあり、また市境に位置する鉄道駅において、関係両市が共同でバリアフリー基本構想を作成し、計画から実施段階に至るまで関係機関と協議を重ねた上で、駅舎を新たに設置し、エレベーターや国道を立体横断する通路等を整備して周辺住宅地へのフラットなルートを確保し、条件の厳しい既存鉄道駅において事業者と地方公共団体が一体となったバリアフリー化を実現した。</p>